

# 避難情報

## 警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
<b>5</b>	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
<警戒レベル4までに必ず避難>			
<b>4</b>	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
<b>3</b>	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
<b>2</b>	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
<b>1</b>	今後の気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである

### 自主避難 について

#### 危険を感じたらすぐ避難しましょう

局地的集中豪雨のような、突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わないケースもあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。

## 避難に関する2つの情報

災害の危険が迫って居住者の避難が必要になった場合に、避難に関する情報が発令されます。2種類の情報は状況の深刻度に応じて出されるので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。

### 1 高齢者等避難

人的被害の発生する危険性が高まった状況。



- 避難するのに時間がかかる高齢者など災害時要配慮者やその支援者は避難を始めます。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常持出品の用意など避難の準備を始めます。

### 2 避難指示

人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況。



- 避難中の住民は直ちに避難をおこなってください。
- まだ避難していない住民は直ちに避難します。万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動を取ります。